

安全データシート

整理番号 : IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク（ブラック）

供給者の会社名称、 : 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

住所及び電話番号 : 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686

供給者のファクシミリ : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com

番号又は e-mail アド

レス

担当部門 : 品質保証部
環境商品安全統括 G

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : インクジェット インク

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲 : 営業上の秘密に該当する通知対象物質の含有量は、範囲情報として記載とする。(基発 0424 第 2 号に基づく)

化学名又は一般名	含有量（重量%）	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		（化審法/安衛法）	
水	40-60	非開示	7732-18-5
ポリアルキレングリコールトリオール	10-20	非開示	非開示
ジエチレングリコール	10-20	(2)-415, (2)-2979	111-46-6
有機化合物	5-10	非開示	非開示

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク (ブラック)

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

カーボンブラック	3-7	5-3328/ (5)-3328, (5)-5222	1333-86-4
アクリルポリマー	1-5	非開示	非開示
ノニオン性界面活性剤	0.5-1.5	非開示	非開示
酢酸	<0.1	非開示	64-19-7

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類 (PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート (BBP)、ジブチルフタレート (DBP)、およびジイソブチルフタレート (DIBP) を含有しない

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移すこと。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
- 眼に入った場合 : 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低 15 分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡、二酸化炭素、水霧。
- 使ってはならない消火剤 : 高圧水で漏出物を散乱させないこと。
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分換気されているか確認すること。
- 緊急対応を行う者のための保護具 : 項目 8 で推奨されている個人用保護具を着用すること。

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク（ブラック）

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

- 環境に対する注意事項 : 薬品が河川等に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周辺の炎をすべて消火する。
 大量の漏出 : リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。バーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。
 少量の漏出 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。
- 浄化方法及び機材 : 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については項目 13 を参照。
- 二次災害の防止策 : 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。
- 安全取扱注意事項 : 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。その他、労働安全衛生法に定めるところに従う。
- 混触禁止物質及び混合物に関する取扱注意事項 : 詳細については項目 10 を参照。
- 保管
- 安全な保管条件 : 日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。
- 安全な容器包装材料 : 十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 :

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 – 管理濃度	ACGIH TLV	厚生労働省 濃度基準値
カーボンブラック	TWA: 4 mg/m ³ TWA: 1 mg/m ³	-	ACGIHの最新版の 許容濃度を参照	8時間濃度基準値 レスピラブル粒子として 0.3mg/ m ³

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク (ブラック)

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

酢酸	TWA: 10 mg/m ³ TWA: 25 mg/m ³	-	ACGIHの最新版の 許容濃度を参照	-
----	--	---	-----------------------	---

- 設備対策 : 換気を十分に行う。
- 生物学的職業性ばく露限界値 : 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害物質を一切含んでいない。
- 環境ばく露防止 : 情報なし
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用する。
- 眼、顔面の保護具 : 適切な眼の保護具を使用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理状態 : 液体
- 色 : 黒色
- 臭い : かすかな
- 臭いのしきい値 : 情報なし
- 融点/凝固点 : $\leq -20^{\circ}\text{C}$ ($\leq -4^{\circ}\text{F}$)
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 100°C (212°F)
- 可燃性 : 情報なし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 情報なし
- 爆発又は可燃の上限界
- 爆発又は可燃の下限界
- 引火点 : 引火性でない
- 蒸発速度 : 情報なし
- 自然発火点 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- pH : 7.8-8.8
- 粘度
- 動粘性率 : 情報なし
- 動的粘度 : $6.1\sim 7.1\text{mPa}\cdot\text{s}$
- 水への溶解度 : 情報なし
- 溶解度 : 情報なし
- n-オクタノール/水 d 分配係数 (log) : 情報なし

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク（ブラック）

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 1.0~1.1
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	
粒径	: 情報なし
粒径分布	: 情報なし
その他の情報	
爆発性	: 情報なし
酸化特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安全性	: 通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	: 通常のプロセスではない。
避けるべき条件	: 凍結。直射日光を避ける。
混触危険物質	: なし
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素。二酸化炭素。
爆発データ	
静電放電に対する感度	: なし
機械的衝撃に対する感度	: なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット)	: >2000mg/kg (GHS 区分に該当しない)
経皮→LD50	: 情報なし
皮膚刺激性(ラビット)	: 刺激性なし
皮膚腐食性	: 腐食性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(ラビット)	: 刺激性なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性(マウスまたはモルモット)	: 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	: AMES 試験 陰性

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク（ブラック）

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

発がん性	: カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって"グループ2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)"に分類される。IARCは、カーボンブラックの吸入によって動物に発癌性の可能性があることを示唆しているが、本製品は液体であり、本製品中のカーボンブラックを吸入する可能性は極めて低い。なお、IARCは、カーボンブラックは経口暴露、経皮暴露では発癌性がないことを示唆している。
生殖毒性	: 生殖毒性及び発生毒性物質(文献1)を含有せず。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし
その他	: 情報なし

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性	
魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ)	: >500mg/L(GHS 区分に該当しない)
ミジンコ類 48 時間 EL50 (オオミジンコ)	: >100mg/L (GHS 区分に該当しない)
藻類 72 時間 ErL50(ムレミカツキモ)	: >100mg/L (GHS 区分に該当しない)
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし
他の有害影響	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：

適切な処理が必要なので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

残余廃棄物 : 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物（廃アルカリ）、水質汚濁防止法：排水基準、下水道法：下水の排除の制限】。

汚染容器及び包装 : 空容器を再利用しないこと。

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク（ブラック）

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

14. 輸送上の注意

国連番号	:	非該当
品名(国連輸送名)	:	該当しない
危険有害性クラス	:	該当しない
副次有害性クラス	:	該当しない
容器等級	:	該当しない
応急措置指針番号	:	該当しない
IMDG		
海洋汚染物質	:	該当しない
MARPOL 73/78 附属書 II 及び	:	該当しない
IBC コードによるばら積み輸送され		
る液体物質		
EmS 番号	:	該当しない
梱包指示	:	該当しない
IATA		
旅客および貨物航空機	:	該当しない
貨物航空機のみ	:	該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の	:	該当しない
安全対策		
国内規制がある場合の規制情報	:	項目 15 を参照。消防法、毒劇法、船舶安全法、航空法に 該当する場合はそれぞれの規定に従う

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法	:	非該当
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 2 号・別表第 9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 5 7 条の 2、 施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 2 号・別表第 9) カーボンブラック ジエチレングリコール*1*2

2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System 顔料インク (ブラック)

富士フイルムビジネスソリューション(株) IK054GJ01

作成日 : 2022/05/10

改訂日 : 2025/03/14

版 : 3

*1 2025 年 4 月 1 日以降、名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9）

*2 2025 年 4 月 1 日以降、名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9）

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 非該当

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を弊社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献 1) : ・IARC Monographs on the Evaluation Carcinogenic Risks to Humans (WHO.IARC: 国際癌研究機関)
 ・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
 ・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
 ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP 規則)
 ・日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献 2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006 を改正することに関する規則(EC)No1272/2008 (CLP 規則)